

このコーナーでは長年、市内の小・中学校で教職にあつた蛭田光城さんが市立図書館発行の「成田のむかし」に執筆した成田の昔の暮らしの様子を掲載していきます。

運動会

文 蛭田光城
ひるたみつぎ
 絵 野上和彦

「運動会って、いつごろから始まったの?」

「うん、調べてみたら、明治四十年以降のようだね。学校は明治六年から出来はじめたよね。でも村々では、学校を運営していくお金がないから、毎月授業料を集めたんだ。明治のはじめごろの農業は、自給自足といって、自分の生産したもので生活していく傾向が強かったんだ。お金にかえられる作物は米と麦しかないものね。だから毎月授業料を払うということは大変だったんだ。だから不就学といって子どもを学校へやらない家庭も多かったんだよ。先生や学校の面倒をみる学務委員は、不就学家庭を説得して歩いたんだね。」

「学校が始まってから、運動会が始まるまでにずいぶんかかっているね。」

「学校ができてから三十年もたつと、学校も生活になじんで、読み書きは大事なことだと考えるようになったんだね。またそのころ、世の中が変わってきていたので、学校へ行く人が増えたんだ。このころになると学校によっては、父兄会や母姉会をつくって、授業参観や懇談会を開いたり、運動会や学芸会も催されたんだ。これは学校ってこんなにいい所だから、皆さんいらっしやい、という呼びかけとも考えられるものだったんだね。」

白雲高く空晴れて
 羽鳥ヶ丘の秋深し

「これは、おじいさんが子どもの頃に、歌った応援歌なんだが、知っているかい? 当時いた豊田先生が作られたそうさ。きつと、他の学校でもこの頃盛んになっていたんだらうね。」
 ※豊田先生は大正四年から豊住小学校につとめられた。後に、成田市教育委員会の初代教育長をされた。

編集後記

9月17日は敬老の日ということで、人生の先輩たちの元気な姿を求めて市内各所へ。表紙は粘土と真剣に取り組む視線に引かれて採用しましたが、ほかにも素晴らしい写真をたくさん撮影できました。どこでも笑顔で迎えていただき、皆さんの元気を分けてもらったおかげか、スタッフ一同すっかり夏バテも吹き飛んだようです。



成田市役所本庁舎(行政棟、議会棟、消防本部、成田消防署)はISO14001の認証登録を受けています。

平成19年9月15日号 No.1107 成田市のホームページ <http://www.city.narita.chiba.jp>